

**令和7年度岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」
部門別交流（プラカフェ）開催実績**

- 1 日 時 令和7年10月6日（月）13:30～16:00
- 2 場 所 岡山県農林水産総合センター
- 3 参加者 プラットフォームの会員企業、生産者、大学、関係機関、県の担当者等 59名
- 4 目 的 果樹栽培の現場では担い手の高齢化等により労働力が不足しており、省力化技術の導入は果樹の生産基盤を強化する上で重要な課題となっている。

しかし、果樹園の多くが中山間地域に位置していることや栽培には熟練の作業技術を要することなどから、果樹栽培の現場では機械化の進展が遅れている。

そこで、果樹栽培での機械化の進展を図るため、モモほ場における機械化の方向性や犬型ロボットの活用等についての情報提供を行うとともに、果樹産地の課題解決に向けた意見交換を行った。

5 内 容

- （1）モモ栽培でのスマート農業の課題と対策（説明・モモ園見学）
- （2）犬型ロボットの農業現場での活用の可能性について（講演・実演）

講師：高知工科大学 情報学群教授 栗原徹 氏

- （3）意見交換会



講演・デモンストレーションの様子



ほ場でのデモンストレーションの様子